

福山喜多会が「春の会」

研究生ら50人が好演

大島当主も仕舞披露

福山喜多会による「春の会」が七日、喜多流大島能楽堂（光南町二一二）であり、愛好者ら三百人が大島政允・四代目当主や能教室で学ぶ生徒らの舞いを鑑賞した。

出演したのは、大島当主と一門の教授陣をはじめ、能楽教室に通う福山市内などの研究生ら五十人。仕舞、素謡、能の演目三十三題を次々に上演、日ごろの練習の成果を

表した。福山喜多会の事務局担当の大島泰子さんは「教室では幼稚園児から九十代のお年寄りまで、一心に能の勉強をしておられます。どなたも堂々とされ見事です」と話していた。

福山喜多会では能楽堂のほか府中、広島、岡山など十カ所に稽古場を設けて能楽の普及、振興に

力を注いでいる。春の会はこうした研究生のための発表会で、十月と正月にもそれぞれ発表会を催している。

問い合わせはTEL〇八四・九二二・二六三三（大島能楽堂）まで。

仕舞「杜若」を舞う大島政允当主（大島能楽堂で）

09/06/10 大陽新聞

back

